

予算に対する 討 論

反対討論

幅田千富美

国の交付税、補助金等が減額され、住民の所得は増えないのに老人控除や定率減税の廃止によりまして住民の負担は一層大きくなっている。合併前の箱もの行政として美術館や鬼関連、有線テレビ等の借金の返済がピークになり、基金を取り崩してまかなうということになりました。そのため様々なサービスカットや利用料の引き上げや職員の給与のカット、こういうことになっていきます。

また、区長協議会交付金が、集落単位に大きな開きがあるままに据え置かれている。

保育所、学校給食の現場では臨時職員でまかなわれている。今回、給食センターの改築統合が提案されましたけど、住民参画協働といいつつも、すべて行政から決めて押し付けられている状況でありまして、本当に計画の段階から住民参画をすすめていくことが求められていると思います。そして住民が団結をして許さない姿勢を示しつつ、暮らしを守る防波堤としての役割を發揮しなければならぬ。同和対策はその地域だけに

限定されたものではなくて、いまや国民、町民全体にかけられた攻撃となっております。

職業のうえでも生活のうえでも様々な差別があるというのなら、国民全体がそうした差別をつけ、そして格差社会が常態化している状況のもとで本当に住民合意のもとで協働していく同和行政にしていかなければならぬことを指摘して反対します。

賛成討論

中田 壽國

いずれの予算も本年四月一日からの本町の住民が生活するうえで大変重要な十八年度予算であります。国民健康保険、水道事業、下水道事業などの特別会計予算は、反対者がよく言われます、命と暮らしを守る重要な予算であります。この内容につきましてはすでに三月十四日に各個人の質問、三月十五日、十六、十七日と委員長報告のとおり各担当課に詳細に審査を行ったところがあります。このことは反対者もよくご承知のことと思えます。以上委員長報告



ふたば保育園

に対し原案に賛成するものであります。

賛成討論

大森 英一

委員長の報告のとおり賛成するものであります。反対者の反対理由に占める同和行政の話は部分的であり、いわば、党利党略であり嫌悪感さえ覚えます。なぜこの同和問題が人権のけん引役という解釈がなぜ理解できないのか。二十一世紀は人権の世紀といわれ、これは伯耆町民にとつて多大な恩恵があるだろうというふうな思っております。同和問題に特定して以前から執拗に反対されており、その根拠が薄い中で労利党略のようなことを前面に出すようなことが果たして町民の利益になるのかと考えます。住田町政に町民の利益に結びつくような提案を今後も期待し、委員長報告のとおり賛成するものであります。